



MENTAGRAPH

FACTBOOK

Philosophy

Brand

MENTAGRAPH = Mental + 接尾語graph

-graphは「書く」を意味する接尾語です。転じて、「図式」や「記述」といった意味を含みます。

photo(光の) + graph(書く) = photograph

geo(地球の) + graph(書く) = geography

心の記述、メンタルの可視化をはかる企業体が MENTAGRAPH株式会社 です。

Value

心の記述、メンタルを可視化することで、積極的に自身にフィードバックすることができます。

それは、個人のパフォーマンスを高めることにつながります。

MENTAGRAPH株式会社は、株価のチャートを見ることで資産を管理するように、

メンタルの可視化により組織または個人による

メンタル管理の実現とパフォーマンス向上をサポートします。

Products

我々はブランドネームに込められた想いと発揮すべきバリューの実現のため、
形式にとらわれないプロダクトを提供しています。

スマートフォン及びPCアプリケーション、物理デバイスを連動させることで
シームレスな体験を実現します。

Contents

MENTAGRAPHとは

企業紹介 ————— 04

実現したい世界観 ————— 05

なぜやるのか

ストレス文脈におけるリスクと課題 ————— 06

なにをやっているのか

事業内容 ————— 07

どうやっているのか

プロダクト紹介 ————— 09

活用イメージ ————— 10

なにが生まれるのか

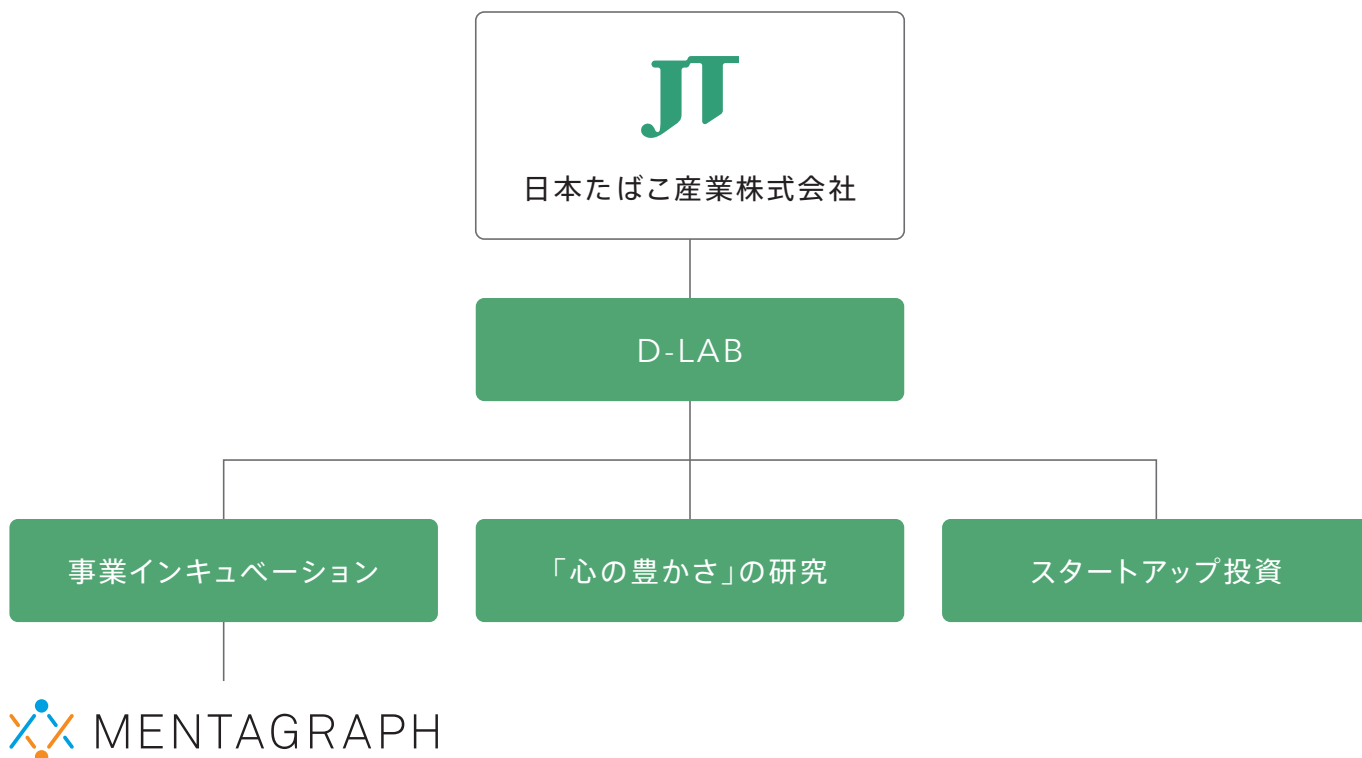
期待される状態 ————— 11

会社と代表のご紹介

企業概要 ————— 13

JTグループの事業インキュベーション会社

「心の豊かさ」をテーマに研究を行う、日本たばこ産業株式会社（JT）のコーポレートR&D組織「D-LAB」。その研究成果を社会に届けるべく、JTグループの事業インキュベーション会社として設立されたのが、私たちMENTAGRATH株式会社です。



D-LAB

JT Group Purposeの実現に向けた
先歩的な取り組みとして、「心の豊かさ」を中心概念に長期的視点で、
提供価値研究や未来の事業シーズ（種）の探索・創出を推進するための
コーポレートR&D組織

「働き方改革」の次は、「心のケア改革」

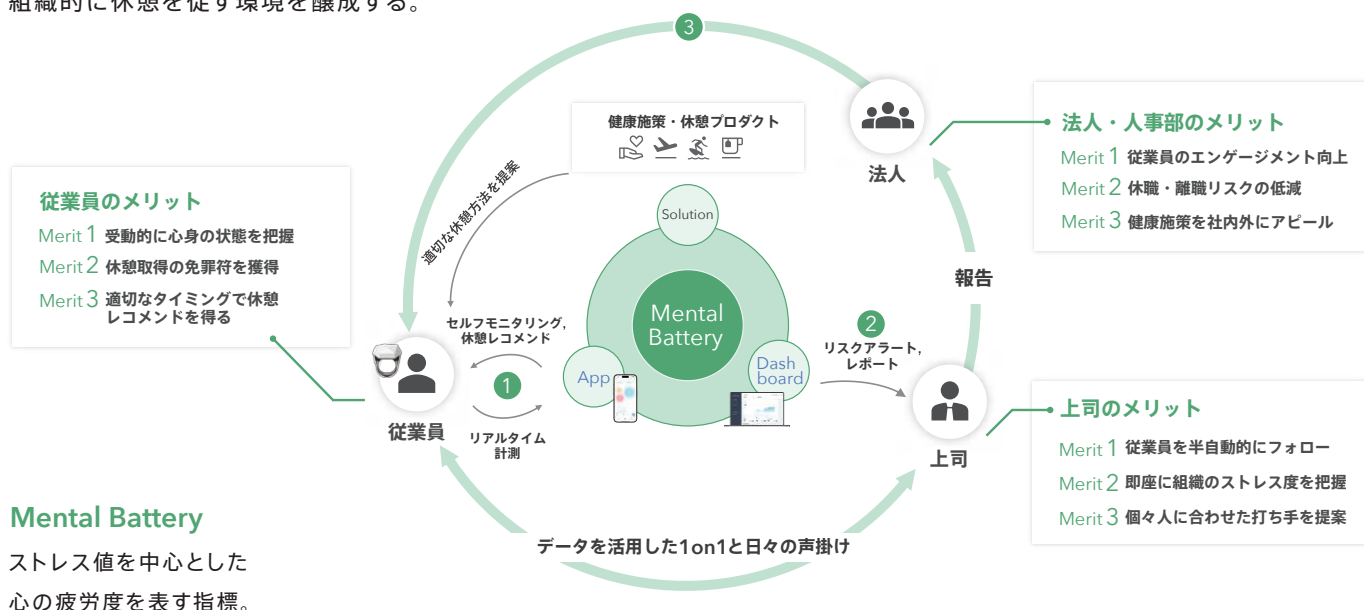
オフィスワーカーのMental Battery(=心の疲労度)を見える化し、ウェルネス向上が“あたりまえ”となる社会の創造のために。直感ではなく、データに基づいたメンタルヘルス施策によって、休憩文脈の組織風土を根底から変えていきます。

MENTAGRAPHの構想

Mental Batteryにより心の疲労度を見える化。

従業員が自身の状態を客観的に把握することともに

組織的に休憩を促す環境を醸成する。



Mental Battery

ストレス値を中心とした心の疲労度を表す指標。

「心のケア改革」を進めるためのソリューション

無意識のストレスを 意識的なケアに



メンタルバッテリーは、業務内で無意識に溜めていたストレスを認知させ、休憩を促すことで、意識的にケアする時間を作り出す

直観ではなく、 データに基づくケアを



高精度バイオメトリクスセンサーで得られたデータを基に、疲労やストレスをリアルタイムに数値化、可視化することでデータに基づくケアを実現

一時的な対応よりも、 持続的なケアを



データに基づいた組織単位の健康施策と日々の休憩促進により、「休憩を取得しやすい文化」を醸成

RISK

ストレスを正確に認知・対策することは難しく、従業員、上司、法人それぞれのプレイヤーはリスクに晒されている。

メンタルヘルス不調リスク



従業員

悩み

- 自身の疲労度やストレスを客観的に把握できない
- 周囲の目が気になり、休めない

抱えるリスク

疲労やストレスを放置続けるとメンタルヘルス不調に陥る可能性がある

評価低迷リスク



上司

悩み

- 部下の抱える疲労やストレス状態を正確に把握できない
- 個々人に対策を講じるには手間がかかる

抱えるリスク

休職者や離職者が出た場合、会社からの評価が下がる可能性がある

イメージダウンリスク



法人

悩み

- 自組織内のエンゲージメントを把握することができない
- 組織全体への取り組み姿勢を示す有効な手立てが見つからない

抱えるリスク

メンタルヘルス不調による退職者が増えると会社のイメージダウンにつながる

疲労やストレスに起因するリスクは甚大な一方で、それらに対する有効な手段がこれまではなかった。
ストレス状況を正しく把握し、個人・法人レベルで休憩取得を戦略的に促進することが肝要。

PROBLEM

従来のストレスチェックは「情報の精度」・「計測頻度の低さ」に課題があり、適切な対応施策を講じることができていなかった。



メンタル
アンケート

アンケートはその時点でのメンタル状況しか把握できず、タイミングに問題あり

また、簡易的なアンケート形式の場合が多く、適当な回答や虚偽の回答で正しく対象者を検知できない可能性がある



バイタル
計測機器

バイタル計測機器は、計測頻度が少なく計測時点のデータしか収集できない

また、端末は組織につき一台、多くても数台程度の設置で同時に複数の従業員の情報を収集することは難しい



セミナー
/ 研修

研修は個々人の状況に合わせたソリューションを提供するには不向き

また、一時的な変化はあるものの、継続的に効果を発揮する施策ではない



産業医
面談

産業医面談は不調を未然に防ぐというよりも、ケアが必要になってから対処される場合が多い

また、定期的な面談を実施するとしても、業務中の細かなストレス状況を察知することはできない

個々人のストレス状況をリアルタイムで正しく把握できないと、適切な対応施策を適切なタイミングで講じることができずこれらは従業員、上司、法人それぞれの悩みの原因となっている

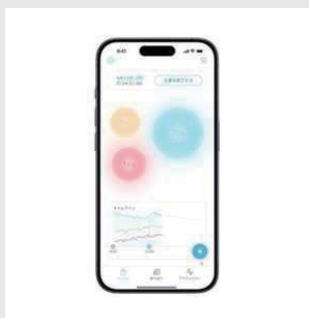
「休憩」を通じて、組織が抱えるストレス課題を解決する

従業員の疲労やストレス状態をリアルタイムで計測・可視化し、適切な回復行動をRecommendすることで、負担の少ないストレス管理を実現します。休憩を取りやすい企業風土を育み、従業員・上司・法人それぞれにベネフィットをもたらす、「新たなストレスソリューションプラットフォーム」を提供しています。



計測 mentoring

業務中に「mentoring」を装着
従業員の疲労・ストレス状態を
リアルタイムかつ高精度で集計



休憩促進 App

自身の疲労・ストレス状態を常に把握
適切な休憩タイミングを自動通知



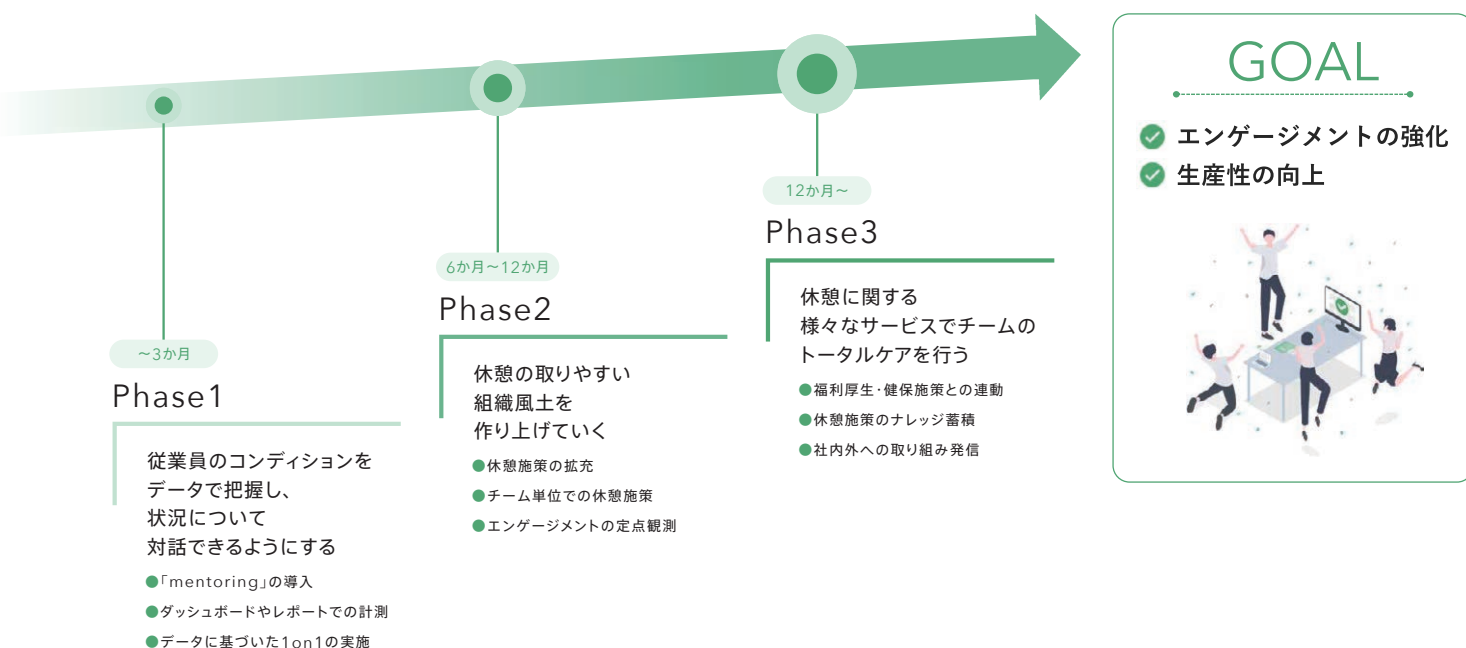
見える化 / アラート Dashboard

個人・組織の疲労・ストレス状態が見える化
簡単にリアルタイムで確認が可能で
スピーディーに対処することが可能

「休める」企業文化づくりに伴走

プロダクトや仕組みの導入から浸透・活用、成果の実感まで伴走。

データに基づいた中長期的な健施策により「休憩をしても良い」という文化をつくります。



未来に向けたサービスの進化

Mental Batteryサービスは、今後も積極的にアップデートを重ね、より価値ある体験へ。さらに、新たなサービスのリリースも順次進行中。

多様なニーズに応えるプラットフォームとして進化を続けます。

今あるサービスのアップデート

Mental Batteryサービス

製品小型化

- ・独自のチップや回路を開発
- ・チップ位置や回路配置の最適化

アルゴリズム開発

- ・加速度センサーの機能を拡張
- ・取得情報の情報量やカテゴリーを増やす
- ・学習機会モデルの学習量を増やす

独自開発のプロダクトラインナップ

MENTAGRAPHが独自に開発するプロダクトは、ユーザビリティと高いパフォーマンスを徹底的に追求した設計。スマートフォン、PCアプリ、物理デバイスを連動させることで、シームレスに使える体験を実現しています。

mentoring

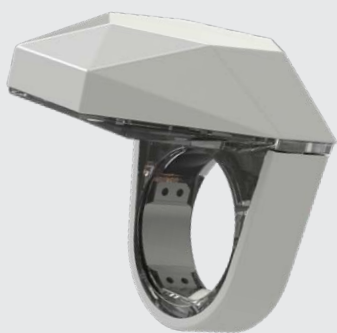
ストレス状態の基データを計測！

従業員が装着すると、高精度なデータを取得

サービスの特徴

- ・4つのセンサー*1で、高精度なデータを取得
- ・先進的デザインかつ簡単に着脱できる
- ・急速ワイヤレス充電ができる

*1: 脈波、皮膚電位、温度、加速度



App

休憩を推奨してくれる！

従業員自身で状態の把握、
メンタルバッテリー値の高まりに応じ休憩推奨

サービスの特徴

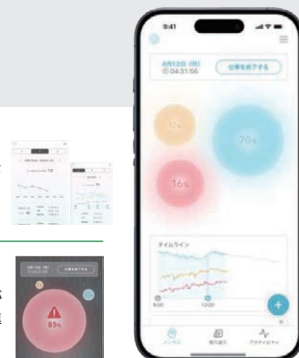
- ・自身のメンタルバッテリー状態がわかる
- ・継続利用で主観に合ったデータが確認できる
- ・チーム、個別で状況比較ができる

レポート

自身の疲労・ストレス度を
レポート日、週、月
次で分析期間を変更可能

アラーム

メンタルバッテリー値が
高まった場合は休憩促進
の通知



Dashboard

状態を見える化してくれる！

3つの観点(従業員・上司・チーム)で
メンタル状態を可視化し、
従業員・上司がメンタル状態に応じた
ケアを実施することが可能

サービスの特徴

- ・従業員個人単位でのメンタル状態と推移を確認できる
- ・上司が従業員のメンタル状態を一覧で把握できる
- ・チームのメンタル状態の推移・比較ができる



Relaxonic Cover

急速にリフレッシュ！

「皮膚で感じる」超高周波音と
温熱機能で、癒しの急速充電

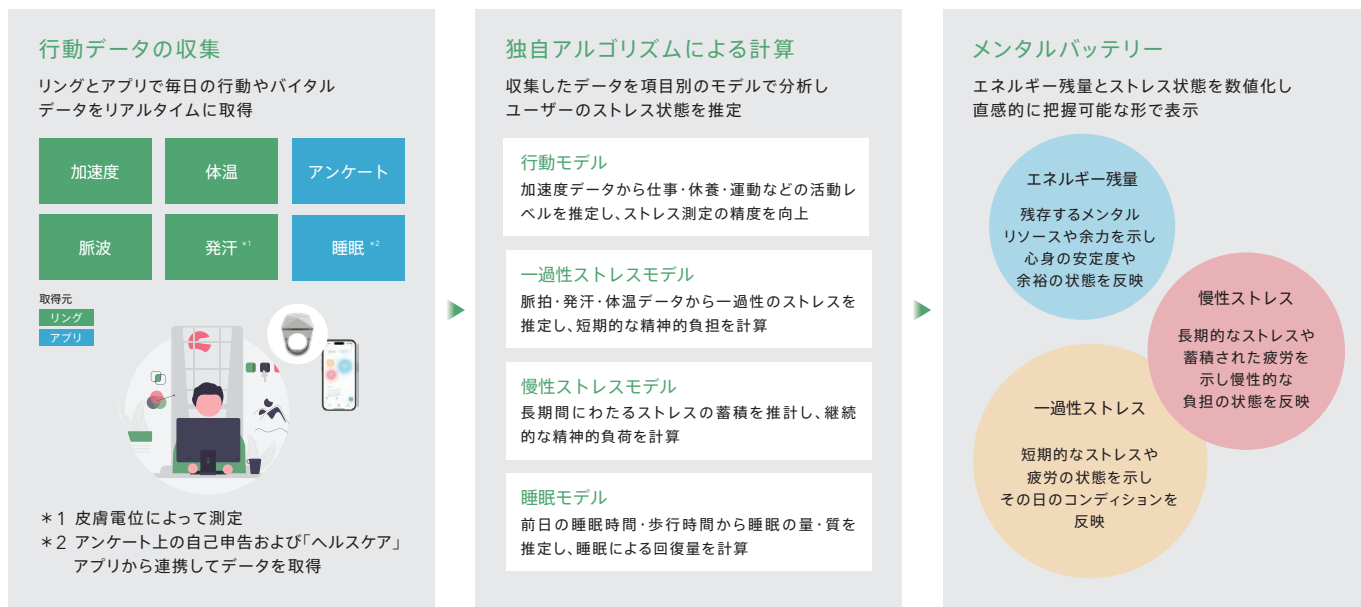
サービスの特徴

- ・独自開発した超高周波音波で深いリラックス効果
- ・目を40~42°Cで心地よく温める
- ・Bluetooth対応で、スマートフォンから簡単に接続可能



エネルギーとストレス状態の数値化

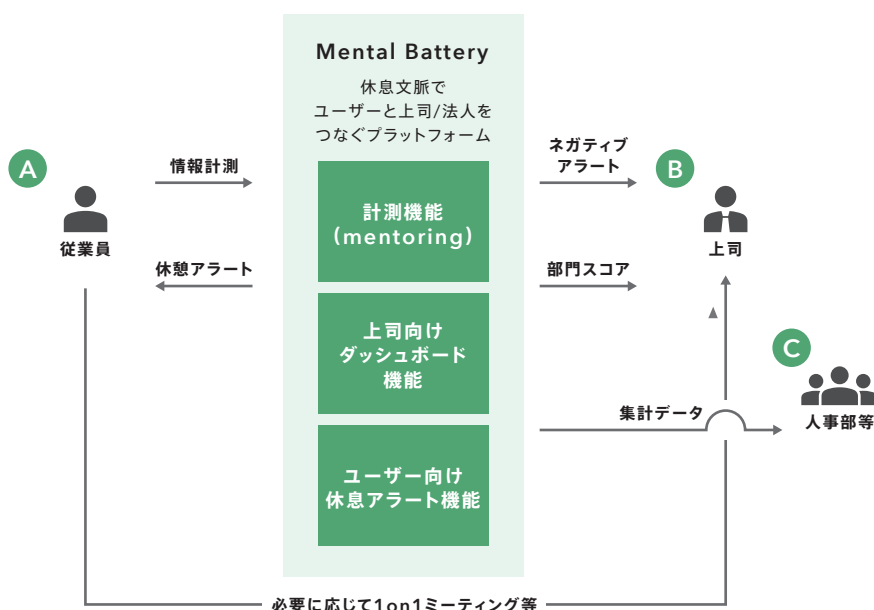
バイタルデータを独自のアルゴリズムで解析し、心身のエネルギーやストレスをリアルタイムで数値化。直感的に把握可能な形で情報を表示します。



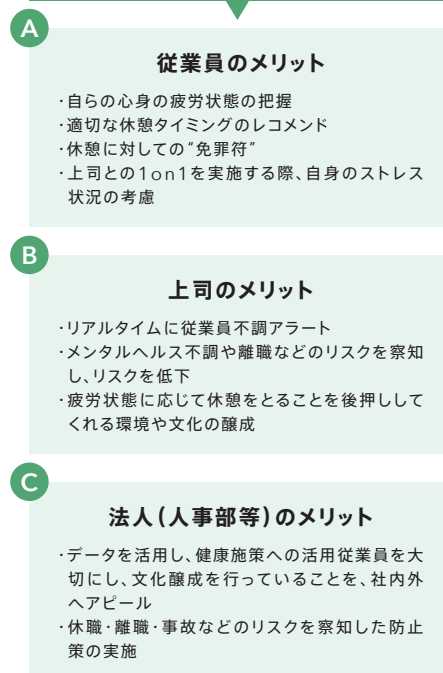
リアルタイムで、ストレスに打ち手を

リアルタイム計測によって、従業員には適切なタイミングでの休憩のレコメンドを。上司にはアラートを通知することで、ストレス管理の精度と効率を高めます。

Mental Batteryの活用イメージ



各プレイヤーのベネフィット



なにが生まれるのか 期待される状態

ストレス管理を、課題からベネフィットに変える

休憩を適切に取得することには、健康の維持管理、モチベーションの向上、業務パフォーマンスの向上という3つの大きなメリットがあります。これは従業員だけでなく、上司や企業全体にとっても有益であり、従来は「課題」とされてきたストレス管理を、前向きな「ベネフィット」へと転換することが可能です。

健康維持管理

01 従業員の健康意識向上

- アプリからの通知により、自身のストレス・疲労を認知するきっかけを創出
- 直観的にストレス度を把握し休憩を取得することで、自発的な健康管理を促す

02 健康マネジメントレベルの向上

- ストレスデータをリアルタイムでモニタリングし、メンタル不調予備軍を早期発見
- 労働時間と休憩時間の可視化により、高ストレス・疲労状態での長時間労働を防止

モチベーションの向上

03 従業員満足度の向上

- 個々人の状態にあわせた休憩取得レコメンドにより、従業員の働きやすさを確保
- 適度な休憩取得により、心理的安全性が確保され離職率を低減

04 コミュニケーションの質向上

- ストレスデータを活用した1on1で、上司と従業員間でのコミュニケーションを改善
- 組織全体のストレスレベルをモニタリングし、人事部が介入するきっかけを創出

パフォーマンスの向上

05 集中力と業務の質向上

- 適切な休憩取得を促し、従業員の集中力低下と業務の質低下を抑制
- 自身の生産性が高まる時間帯を把握し、より創造性の高い業務を行うペース配分

06 チームの生産性向上

- ストレスデータモニタリングを通じた適切な負荷と休憩により、新人の早期戦力化
- チーム内のストレスを抱えている従業員を察知し、業務割当と配置の最適化

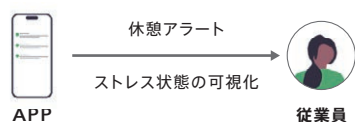
Mental Batteryを活用することで健康維持管理に寄与する

01 従業員の健康意識向上

起きている問題

- 従業員は業務が立て込むと、無意識的に疲労・ストレスを蓄積してしまう
- 過度なストレス状態が続くと、メンタル不調のリスクが高まる

期待される状態



健康意識のきっかけづくりと習慣化



- アプリからの通知により、自身のストレス・疲労を認知するきっかけを創出

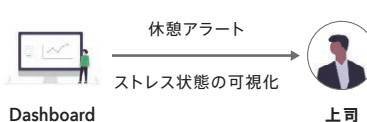
- 直観的にストレス度を把握し休憩取得することで、自発的な健康管理を促す

02 健康マネジメントレベルの向上

起きている問題

- 従業員のストレス管理まで手が回らず、後からケアが必要になる
- ケアが必要なことが発覚した時には、手遅れになっている場合がある

期待される状態



データを活用した従業員の健康管理



- ストレスデータをリアルタイムでモニタリングし、メンタル不調予備軍を早期発見

- 労働時間と休憩時間の可視化により、高ストレス・疲労状態での長時間労働を防止

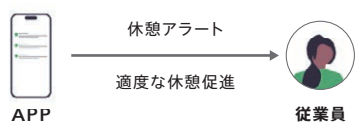
Mental Batteryを活用することでモチベーション向上に寄与する

03 従業員満足度の向上

起きている問題

- 業務量が逼迫すると、休憩が後回しになり働きやすさが損なわれる
- 心理的安全性が低下すると、貢献意欲の低下や離職の可能性が高まる

期待される状態



働きやすさと心理的安全性の実現



- 個々人の状態にあわせた休憩取得レコメンドにより、従業員の働きやすさを確保

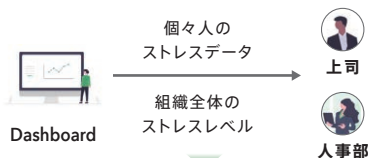
- 休憩取得に対する罪悪感がなくなり、適度に休憩を取得できることで、心理的安全性が確保され離職率を低減

04 コミュニケーションの質向上

起きている問題

- 1on1の内容は業務関連の内容が大半を占め、従業員に寄り添えていない
- 人事部と現場社員との距離が遠く、コミュニケーションがとれていない

期待される状態



コミュニケーションの質向上ときっかけづくり



- ストレスデータを活用した1on1で、上司と従業員間でのコミュニケーションを改善

- 組織全体のストレスレベルをモニタリングし、人事部が介在するきっかけを創出

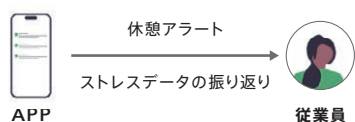
Mental Batteryを活用することでパフォーマンス向上に寄与する

05 集中力と業務の質向上

起きている問題

- 疲労が蓄積され集中力が低下し、業務ミスのリスクが高まる
- 疲労やストレスが蓄積されると、生産性低下の可能性がある

期待される状態



休憩取得と業務ベース配分を可視化



- 適切な休憩取得を促し、従業員の集中力低下と業務の質低下を抑制

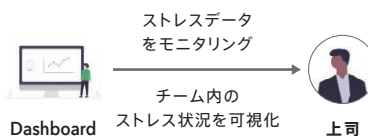
- 自身の生産性が高まる時間帯を把握し、より創造性の高い業務を行うベース配分

06 チームの生産性向上

起きている問題

- オンボーディング期はインプット量が多く、どうしても負荷がかかる
- チーム内で業務負荷が特定の従業員に偏ってしまう

期待される状態



チーム内のストレス状態を可視化



- ストレスデータモニタリングを通じた適切な負荷と休憩により、新人の早期戦力化

- チーム内のストレスを抱えている従業員を察知し、業務割当と配置の最適化

Company



MENTAGRAPH

会社名	MENTAGRAPH株式会社
設立	2024年3月
代表	安達淳
主要株主	日本たばこ産業株式会社(100%)
所在地	東京都中央区八重洲
主な事業内容	適切な休憩を促すことで、従業員が心豊かに働けるようにするためのB to B 向けのサービス提供。

